

た正しく け健気に の伸びやかな こ個性あふれる 学年

学年だより

練馬区立石神井西中学校

令和8年度 第3学年(みどり学年)

第4号 令和8年 4月20日(月)

幸先の良いスタートを切りました。

新たな環境となり10日程が経ちました。とても良い雰囲気でごせており、素晴らしいスタートが切れました。3年生としての自覚とともに、中学校生活最後の一年間をより楽しく過ごしたいと思う気持ちが伝わってきます。多くの生徒がとても良い表情で過ごしていることが印象的です。まずは、5月の連休までの最初の一カ月を、程よい緊張感を保ち進めていきましょう。

今週は金曜日に保護者会を実施します。どうぞよろしくお願いいたします。

学年体育 ～親睦を深めました～

学年時間割の中で、学年体育を実施しました。新たなクラスになり、クラスの親睦を深めることが目的でした。これまで通り元気いっぱいの学年の雰囲気、各クラスがとても楽しそうに取り組んでいました。コミュニケーションの取り方をはじめ、どのように取り組んだら楽しくなるのか、この2年間でよくわかってきているを感じる時間でした。楽しむときは思いっきり楽しみ、やるべきことは基準を落とさずにやりきることで学年にしていきたいと改めて思いました。



合同体育 ～1年生に石西の伝統を伝える時間～

4月恒例の1年生との合同体育を実施しました。1年生に運動会で踊る「カノン」の振りを教えるこの時間は、『3年生』になる時間でもあります。後輩に先輩として教えるこの時間は、単に振り付けを教える時間ではなく、3年生としての自覚が芽生える時間でもあります。周りで見ている先生たちは、一人一人の成長を感じられる時間にもなります。2年前は教えてもらう立場だった皆が、今は3年生として後輩に自分たちの背中を見せているこの光景は、感慨深いものです。同じ時間を過ごしてきたからこそ、たくさんの感じるものがあります。こうして、あっという間に一年が過ぎ、卒業を迎えるのだと思います。これからの一つ一つの出来事に成長を感じ、大人になっていく背中を後押ししていくことが私たちの果たすべきことです。時に引っ張り、時に見守り、そして、どんな時でも共に歩みを進めていきたいと思えます。



今後の予定

時間割は変更になることもあります。毎日、翌日の予定を確認しましょう。
提出物は早めの提出にご協力ください。

日付	内容	日付	内容
4/20(月)	6時間授業 生徒会朝礼(8:20登校目安)	4/27(月)	6時間授業 2年生保護者会
4/21(火)	6時間授業 全国学力調査(英語)⑤⑥校時	4/28(火)	6時間授業 1年生保護者会
4/22(水)	5時間授業 職員会議 腎臓検診	4/29(水)	昭和の日
4/23(木)	6時間授業 全国学力調査(国・数)①②校時	4/30(木)	6時間授業
4/24(金)	4時間授業 3年生保護者会	5/1(金)	6時間授業 開校記念日
4/25(土)	休業日	5/2(土)	休業日

～学年主任のひとり言～

学年主任を任されて最後の一年です。学年主任のつぶやきとして、その時に感じた様々なことをつぶやきとして発信してみようと思います。長い文章が嫌でなければお読みください。

◆環境が人を変える ～果たすべき役割と立場への自覚～

私たちは誰かの力で変わるわけではなく、どんなときも自分の力で変わっていきます。しかし、変わりたいと思ってなかなか変わることができず、自分を変えていくことの難しさを誰もが経験したことがあるかと思います。変わりたいと思ってなかなか変わらないのに、環境が変わると意識しなくても変わっていくこともあります。その要因となるのは『環境』です。私たちが生活する中では、所属する集団やコミュニティがあり、その中で担う役割や立場があります。こういった役割や立場が人を変化させていきます。

4月に3年生となりましたが、昨日までは2年生、今日からは3年生、変わったのは立場だけです。しかし、見せる姿には大きな変化が感じられます。どことなく不安定さがあつたはずなのに、気付けばたくましく頼れる姿になっています。3年生という立場が人を変えていきます。与えられた役割を全うしようとすることで、成長を促し、身につく力が増大していきます。

改めて思うことは、私たちは常に目の前にある環境に適応しようとしています。自分の生活する環境がどのようなものであるかで、適応する中身も方向性も変わっていくことでしょう。それ故に、環境の及ぼす影響はとても大きなものになるのです。ここで大切なことは、環境は誰かが与えてくれるものではなく、自分が創り出していくものだということです。何かを待つのではなく、自分から動くことが誰かの環境となり、その環境が自分の環境となっていきます。

私は、一番の環境は『人』だと思っています。環境が人を成長させる。その一番の環境は人である。そんな言葉を大切にしています。私たち教員ができることは、子供たちを成長させることではなく、成長していくためのよりよい環境となっていくことです。それは、世の中を見たときに、大人が常に意識しなければいけないことなのかもしれません。

どのような環境に身を置くのかも大切ですが、皆でどのような環境を作っていくのかはもっと大切なことなのかもしれません。